



トピックス

- ★ ホームカミングデー野田で開催
- ★ 理工学部開設50周年
- ★ リケジョの活躍

Contents

- | | |
|--------------------|----------------|
| 2 TUS Vision 150 | 18 在学生だより |
| 4 代議員総会報告 | 20 大学トピックス |
| 9 理工学部創設50周年記念事業 | 22 理窓会トピックス |
| 10 支部だより | 24 Information |
| 15 フレッシュマン・がんばる同窓生 | |



● はじめに

東京理科大学を取り巻く社会的環境が厳しくなる中では、学校法人の運営および財務体質の健全性を維持しながら、本学の建学の精神に基づく教育研究活動を着実に発展させていくことが重要となります。そのためには法人と教学が共通の認識を持ち、足並みをそろえて基本政策を実行することが求められます。

そこで本学では、学校法人東京理科大学長期ビジョン TUS Vision 150 を作成し、将来にわたり時代の要請に応える人材ならびに未来を照らす研究成果を創出し続けるとともに、世界に向かって大きく羽ばたくため、創立150周年(2031年)の姿を描くことで今後15年の方向性を明らかにしました。

このビジョンの具体化に向けた施策は、すでに実行段階にある中長期計画に収れんさせ、充実した教育研究環境を整備するとともに、さらなる大学改革を推進していきます。

● 本学の歴史と伝統に誇りを 建学の精神

東京理科大学は
“理学の普及をもって国運発展の基礎とする Building a better future with Science”
 の建学の精神に基づき、建学時からの伝統である実力を備えた学生のみを卒業させるという実力主義を受け継いでいます。その積み重ねによって、実力を有する多くの人材を日本の教育界、産業界、研究機関に輩出し、社会に貢献してきました。

この建学の精神は、21人の維持員先生らの「物理学講習所」創立までの情熱を基とし生まれたものであり、これが教職員の学生に対する教育指導の熱意につながり、在学生、卒業生さらには広く東京理科大学に関わりある人々の誇りを形作ってきました。

● 教育研究理念

[1] 自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学技術の創造

…自然および生命現象の本質と原理を解明し、人類の叡智の進展に寄与することで、新たな物・技術・システムを構築し人類の活動の充実と高度化を実現します。

…自然と人間の調和的かつ持続的な繁栄に貢献します。

[2] 正しい倫理観と人間力の醸成

…事実を直視し、事実を素直に認める謙虚さを持つ人材を育成するとともに、幅広い視野を涵養する教養教育と多様な人材との触れ合いを重視した基礎教育と最先端の専門教育を実践します。

[3] 教育者として優れた人格および資質を有する人材を創出

…本学が伝統としてその実績を誇る人格・資質に優れた理数系教育者を養成することで、中学、高校における理数系教育の中核となりうる人材を創出します。

[4] 国際人の育成

…国際的な広い視野を持つ科学者・技術者・ビジネスリーダーを育成し、世界で活躍する人材を創出します。

● 長期ビジョン(TUS Vision 150)

日本の理科大から世界の理科大へ
 東京理科大学からTUSへ

…日本における技術革新の原動力となりうる人材の育成、また研究成果を生み出すことで、科学技術の発展に寄与し国際社会に貢献します。これによって世界で広く認められる大学をめざします。

TUS Vision150が描く15年後 創立150周年時の本学の姿

- ① 日本の先進技術を駆使しイノベーション創出に貢献する多くの人材を育成。
- ② 科学技術、経営、教育の分野で世界レベルのリーダーとして活躍できる人材を供給。
- ③ 人類への貢献をめざし、高い実践力と忍耐力を持ってたゆまなく課題の解決に挑む人材を育む環境。
- ④ 基礎研究から応用研究まで幅広い分野に亘って世界をリードする研究拠点。
- ⑤ 学際的コミュニティの中で多様性をもった自由闊達な議論を求め、世界各国から人材が集う拠点。
- ⑥ 世界のいたる所で社会に貢献する理窓会メンバーである校友の強固なネットワークの中核。

…15年後には、東京理科大学が東京理科大学を超え、TUSとして名実ともに世界に認知され、科学技術の修練の場として、自らを鍛えようとする志を持つ人材が集う場とします。

…現在、3か年中期計画のテーマとして、経営力強化、女性活躍推進、教育力・研究力の向上、キャンパスの改善、事務職員の生産性向上、多方面における国際化推進などがあげられますが、これらのテーマは、2018年の目標値を設定し、テーマごとにTUSならではの特色を活かした解決策を策定し、着実に目標値に近づけます。

● TUS Vision 150達成のための法人としての課題

本学がさらなる飛躍を遂げていくために、早急に取り組まなければならない課題と施策を明らかにします。15年後には、さらにその50年後を見据えた戦略に、全員一丸で取り組んでいかなければなりません。

1) 組織改革とブランド価値向上

少子化がますます顕著となる状況下、大学の実力に応じた差別化は、さらに厳しさを増すことから、本学独自の特色を打ち出す施策を立案し迅速かつ的確に実行できる体制整備と組織改革を早急に行う必要があります。

さらにビジョンにしたがい、教育研究の領域で成果を上げることで実質的価値向上を図ることは当然のこととして、本学ブランド価値向上のための施策も同時に推進します。

2) 大学の基礎体力強化

*財務体質の抜本的改革

財務体質の抜本的改革に多くの私立大学が取り組んでいます。私立大学は、学生納付金に財源の多くを頼らざるを得ない状況にあります。また、従来の目的が明確でない慣例的な経営意識が、今後必要となる改革を行う足かせになっていないかなど自らを問い直す必要があります。本学の教育研究事業を発展・強化し、将来的に価値ある大学として存在し続けるためには、たゆまぬ自発的改革が必要です。

*将来計画を見据えた財政運営

事業評価制度を導入することで、実施事業の優先順位を明確化するとともに、その選択と集中により、規律ある財政運営を行います。

*収支構造の改革

本学の収支構造は、収入は入学検定料を含む学納金、公的補助金、寄付金、運用益が主であり、支出は人件費、教育研究費、管理経費です。収支構成比率をどのようにしていくかが、本学の将来の財政施策そのものとなります。そこで、この収支構成比率に明確な数値目標を導入し、PDCAサイクルを確立することでその実現を図り安定的な財政基盤の確立をめざします。

3) アドミッションポリシーの変革

「TUSの教育研究理念に共鳴し、勉学意欲のある学生が選抜基準をクリアし本学に集う」、これがアドミッションポリシーに掲げる“求める学生像”の基本となります。

それらを前提に高大連携・接続の観点から、付属高校の設置、重点提携校と連携して本学が生徒の育成に関わることも検討します。またダイバーシティーという観点に立った推薦制度、入試制度などについても、さらに検討を進めていきます。

4) 教育研究理念に基づくブランドデザインの構築

日本の18歳人口は、2030年には、現在の120万人から100万人前後にまで減少します。これが社会構造および産業構造に影響を及ぼすことから、おのずと大学の役割や養成すべき人材についても変化することが予想されます。

したがって教育研究理念に基づくカリキュラムの全学的な整備・統合が必要であり、7学部31学科、11研究科(8研究科に再編予定)の学科間、専攻間の連携によって、時代に即応した講座や学修時間数を設定し、より教育効果を高めていくことをめざします。

併せて、以下の項目についての検討も進めていきます。

- *教養教育と生涯学習教育の充実
- *TUSオープンカレッジの設立
- *幅広い視野を涵養する教育システムの確立

5) 世界をリードする創造的研究推進と研究拠点の構築

他大学や他研究機関、民間との産学連携に加え、地域企業や地方自治体との連携研究、海外大学、研究機関との連携強化を推進します。さらに本学ならではの優れた創造的研究を生み出すために、学内での教員同士の研究連携を強化します。これにより新しい学問分野や技術分野を生み出し、創造的研究に取り組もうとする研究者や教員等が広く国内外から集う、魅力ある研究環境を構築します。

6) キャンパス再構築・学部再編計画と各キャンパスライフの質的向上



資料提供:株式会社エムアーキ

2017年度から理工学部50周年事業を開始しますが、その取り組みを数年後には、全学的な再編を含めた150周年事業に包含し、新学科の開設、学部再編、定員の見直しなどの将来計画を明らかにしていきます。



資料提供:株式会社エムアーキ

また各キャンパスの教育研究施設のみではなく、アメニティ施設の充実も段階的に行います。教育・学修環境以外でのIT化も、セキュリティを担保しつつ、積極的に推進する必要があります。

このほか、バリアフリーのさらなる促進、外国人留学生への配慮、自宅外通学者への寮、給付型奨学金支給などインフラ・制度両面で学生生活の支援も検討します。

7) 危機管理体制の充実

安心して教育研究を行える環境整備として、環境活動方針や事業継続計画の策定、大学経営上の安全・衛生・防災・環境・リスクの各マネジメント体制の一層の充実を図ります。

8) 国際競争力強化のための体制整備

ハード、ソフトを含むあらゆる面において総合的に国際競争力強化に取り組みます。優秀な留学生獲得のためのプログラムや、海外大学・研究機関とのダブルディグリー、短期留学プログラムなどの開発も進めます。このために、ホームページや公式文書の多言語化の推進、留学生と日本人学生の多面的な交流を可能とするための交流拠点の設置も検討します。

9) 校友・地域社会との生涯にわたる連携強化

母校に誇りを持ち、その伝統を継承する理窓会を中心とする校友会の皆様との連携を引き続き強化することにより、本学の発展に寄与します。また地域社会への貢献や本学同窓の皆様のために生涯学習教育を充実させます。

平成29年度理窓会 代議員総会・会長所信表明

会長 石神一郎(工・建1970)



理窓会の目的

理窓会の基本的な目的は、東京理科大学への応援と、理窓会会員の交流と親睦、そして社会貢献である。21万人というのは大変な数である。これらをバックボーンにして、大学との協力関係を考えていきたい。

当面の課題と施策

(1) 21万人卒業生がネットワークで繋がる

3つの理窓会機能、ホームページ、facebook、生涯使えるalumniメールを使って卒業生21万人のネットワークを構築したい。卒業生のみなさんが、理窓会ホームページを使って、さらに理窓会facebook等で繋がって欲しい。ホームページも理窓会の方針、活動がどういふものであるかパッと認識できるものに改善しました。諏訪にも山口にも飛んでいけるものになっています。この中に新設した再就職支援も入っています。しかし、ホームページやfacebookに来ていただけないと詳細をお知らせできない。それを補うのが大学が卒業生に提供している生涯使えるalumniメールです、是非alumniメールアドレスに登録してください。大学と理窓会から最新のニュースを発信しています。

今回、『理窓』と『today』を合本して、1つの会誌『理窓』として年3回発行することにした。会費を納めている、納めていないにかかわらず、住所の分かっている全員に配布することにした。これはネットワークを大事にしたからである。さらにこれを将来のデジタル化への対応に繋げていかなければならない。将来的には、会誌を印刷して配布することから、徐々に抜け出したいのである。

(2) 理窓会の支援活動の充実

次に支部活動の活性化支援に取り組むたい。支部長会でも話し合ったように各支部ではいろいろ苦労している。各支部では総会、懇親会、講演会、旅行会、ハイキング、ゴルフ会、など工夫して取り組んでいる。青森支部では、子供たちを対象に科学のイベント「おもしろサイエンス」を開催して好評である。また関西連合では、支部を超えたハイキングを行って交流をしている。他の地区でもぜひ工夫してもらって、それを理窓会として何らかの支援をしていきたい。

(3) 理科大卒業生への再就職支援

数年かけて準備して来た、全く無料で、最後は人材派遣会社が対応する卒業生への再就職支援サービスが完成しました。すでに数十人が登録し、具体的に進めています。理科大ブランドを活かしていきたい。ぜひホームページをご覧ください。

(4) 在学生への支援

在学生も将来は私たちの仲間になる。在学生への課外活動支援、就職活動支援、キャリア教育に力を入れていく。

長期的な課題と施策

(1) 海外理窓会の拡充と支援

タイランド理窓会ができた。設立総会にはインドネシアやマレーシアからも応援に来ていただいた。今日は北カリフォルニアから熊谷さんが出席してくれている。グローバル化は現実起こっている。海外はビジネス的な色彩が強い。今年はベトナムに理窓会ができる。

(2) 関連団体の増加

60活動団体になった。毎年、関連団体交流会を開催し、懇親会を行っている。こういう形でネットワークが構築できれば、理窓会の活力が生まれる。全体では200くらいの団体がある。ぜひネットワーク化して、将来に向かって、皆さんと一緒に進めていきたい。これらのことを理窓会の組織をあげて取り組んで行きましょう。

平成29年度理窓会代議員総会報告

日時:平成29年6月25日(日) 13時~15時

会場:神楽坂キャンパス 1号館記念講堂

梅雨空の天気の中、6月25日(日)午後1時より神楽坂キャンパス1号館記念講堂で、「総会出席者は委任状を含めて146名で、総数201名の過半数以上になり、今回の総会が成立した」と司会、増淵副会長の発声により平成29年度理窓会代議員総会が開会された。

まず、石神会長より「全国からお集まりの代議員の皆さん、歴史と伝統ある東京理科大学理窓会の方針を審議する年一回の重要な場である」と挨拶があった。

次に、来賓を代表して本山東京理科大学理事長から先の新年茶話会で概要に触れた『TUS VISION 150東京理科大からTUSへ』の詳細説明があった。続いて、石神会長より「会長所信表明」(前述)があった。

その後、総会次第に則って議事に入った。議事の進行は議長として石神会長が行った。それぞれの議案は総会資料を用いて丁寧な説明がなされた。活発な審議がなされた後、それぞれの議案が満場一致で承認された。

議事に引き続き、報告事項についての説明があった。

(1) 第12回ホームカミングデーは福田副会長(HCD企画実行委員長)が熱心にHCDにかける意気込みを語った。

(2) 第9回坊ちゃん科学賞研究論文コンテスト(高等学校)に坂本副会長から「今年も研究内容等をより一層充実させたい」と、開催目的や経過、概要の説明があった。

(3) 維持拡充資金(第二期)について、森野維持会会長から募金についての報告と呼びかけがあった。

以上、平成29年度代議員総会が滞りなく執り行われ、実りある総会になった。



支部長会報告

テーマ:支部活動の活性化~支部総会開催の在り方~

日時:平成29年6月25日(日) 10時~12時

会場:神楽坂キャンパス 1号館大会議室

今年度も全国の理窓会支部長が一堂に会し、支部の課題や理窓会の今後について議論を交える貴重な場となっている全国支部長会が開催された。



石神会長より挨拶に続いて3つの報告があった。①「再就職の支援」。HPを使ってサービスが開始された。すでに応募があり、就職が決まった方がいる。②「新しい『理窓』の発行」。すでに5月号が届いている。③「新入生からの前受会費徴収」。大きな成果であり、これを生かしていきたい。続いて増淵副会長より新『理窓』の発行についてプリントを使って説明があった。また、生涯メールの入った名刺を作ったので活用してほしい。

次に森野副会長の司会進行により事前アンケートの集計結果を踏まえ、テーマに沿った情報及び意見の交換が活発に行われた。

(神楽川) 7月に総会、1月に賀詞交歓会を行い、80名前後が参加する。会場はローズホテルに固定。6地区に分かれて活動している。連絡はメールアドレスで支部長が管理。一斉メールで30人くらいに送信できる。教職員と企業人会が両立。

(千葉) 不便なところもあるので会場は千葉市のポートプラザ千葉に固定。8月の総会は教職員部会が担当。1月の新年会を担当していた企業人会が成立しにくくなった。卒業5年くらいの教職員の会を年1回開催している。

(埼玉) 久喜キャンパスが無くなり、80人集まる会場の確保が困難になった。大学だと若い教員も参加しやすかった。決まった場所がほしい。

次に支部同士が交流している関西の状況を聞く。

(滋賀) 滋賀は300人だが関西全体は3,000人。関西理窓会合同会として開催している。個別にもやり、そこに幹事やこういふ会が参加している。年間を通じて、新年会、総会、ハイキング、鳥人間コンテストなど、数多くの行事がある。続けると他地区からも参加する。鳥人間にも60人くらい集まる。ハイキングは30人くらい参加する。広報は往復葉書とHPやFacebookも使う。本部からも広報してもらう。メールも90人把握。

(兵庫) 年1回県民会館を利用。理大人に講演してもらう。

8年に1回ホスト役。

(福井) 地理的に関西支部に参加しやすい。他支部から学ぶことが多い。往復葉書を利用。

(香川) 関西連合のようなことを四国でもやりたい。まず今年、高松で合同開催する。

(静岡) 東部、中部、西部(浜松)の3地区で各20~30人くらい。各地区の会長が参加し合う。往復葉書利用。メールは使いこなせない人がいる。

(栃木) 3地区に分かれている。昨年は塩原温泉で開催した。若い世代が少ない。400人に案内する。メールやHPも使いたい。

(青森) 青森と弘前と八戸の3地区ある。少なくなってきたが変えることができない。メールも使っていきたい。

(岡山) 岡山市の同じ会場で10年ぐら開催。封書に葉書を同封、アドレスも書いてもらう。岡山坊っちゃんの会。開催した記事を新聞社に送って掲載してもらう。

(福岡) 4地区あるが福岡のホテルで開催。講師を工夫。メールや葉書、往復葉書も出す。

(北海道) 企業人が高齢化し、若い教員が増えた。HPをやってくれる人が出てきた。よさこいには野田から学生が100人くらい参加、こういふ会と一緒に応援する。

(東京) 大学があり会場に恵まれている。人数がなかなか増えない。5月に総会、9月に秋季大会。毎月役員会を行う。

(山口) 再就職支援に期待したい。

(北カリフォルニア理窓会) 同窓は120人くらいで、メールで連絡している。年3回公園で家族連れのバーベキューを行う。他大学でも参加できる。こちらに来た新しいメンバーのサポートもしている。議事はしない。

このように各支部長より有意義な報告があった。時間の関係で全員の報告とはならなかったが支部活性化に向けて多くのヒントを得たようであった。

理窓会同窓懇親会開催

代議員総会終了後、場所をPORTA神楽坂6階理窓会倶楽部に移して恒例の同窓懇親会が開催されました。参加者は110名。藤嶋昭学長の祝辞、加賀谷秀樹副会長の乾杯で会は開かれました。久しぶりに会う代議員方々、歓談の輪はあちらこちらにできていました。名残は尽きませんでした。締めめの挨拶は横山成紀副会長よりいただき閉会となりました。



平成28年度理窓会 会務報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

《事業報告》

- 第11回ホームカミングデーの開催
10月30日(日)葛飾キャンパスで開催
- 第8回坊っちゃん科学賞研究論文コンテストの実施
発表会・表彰式を平成28年10月30日(日)
- 第13回理窓会会長杯ゴルフコンペの開催
11月12日(土)
- 第108回新年茶話会の開催
1月7日(土)14:30～17:30
- 会費納入会員の増強
住所登録者数 : 114,256名
会費納入会員数: 27,497名
(人数は平成29年3月31日現在)
- 支部活動の活性化支援
①支部総会への本部役員派遣 ②支部活動補助金の支給
- 在学生・新卒業者に対する支援
- 「理窓」及び「TUS Alumni today」の発行
「理窓」:年4回「TUS Alumni today」:年3回
- 平成28年版「理窓のしおり」の作成
- インターネットの活用
①本部と支部ホームページの充実
②本部フェイスブックの充実
③グループウェアのサービス開始
- 理窓会における顕彰(新年茶話会において)
- 組織化推進
①卒業年次幹事の推薦依頼 ②学生組織との関係強化
③関連団体との関係強化
- 理窓会倶楽部の運営
①運営委員会:11回開催 ②平成28年度倶楽部協力者
③理窓会倶楽部懇親会開催 ④落語会の開催
- こうよう会との連携
(1)こうよう会主催行事への参加 (2)首都圏地区支部合同「就職進学懇談会」への講師派遣
- 学位記・修了証書授与式(卒業式)での理窓会会長の祝辞と理窓会正会員になる歓迎辞

平成29年度理窓会 事業計画

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

- 支部長会、代議員総会、同窓懇親会の開催
- 常務委員会(年11回)、正副会長会・企画総務委員会合同会議(年2回)、新正副会長会(年1回)の開催
- 支部活動の活性化支援
①支部総会への本部役員派遣
②支部への活動補助金 支給
- SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用
①Mail、Facebook、Homepage、YouTube、Twitterとの連携
②平成26年2月末日から登録を開始した大学提供グループウェアへの登録促進
③TUS Alumniグループウェアを活用した連絡網の充実
④SNSを活用した情報配信
- 新「理窓」の発行(5月・9月・1月の年3回)
- ホームカミングデーの開催
・平成29年度は野田キャンパスにて開催
- 新年茶話会の開催
- 理窓会倶楽部の運営
・理窓会会員相互のコミュニケーションの場の提供
- 坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト(高校部門)の開催
- 坊っちゃん賞選出
- 卒業生への対応
①卒業年次幹事との交流会開催
②理窓会関連団体への対応および交流会の実施
- 理窓会関連団体への対応および交流会の実施
・在校生への支援要請・理窓会への協力要請
・理窓会会議室の無料貸出し
- 理科大卒業生への再就職支援の開始
- 理窓会女子委員会の開催
- 海外理窓会のフォローおよび設立の対応
- 理窓会役員の選出
- 在学生に対する支援
- 15年会費納入者に対するネクタイ・スカーフの贈呈
- 会長杯ゴルフコンペの開催
- こうよう会との連携

平成28年度理窓会 収支計算書

(自平成28年度4月1日～至平成29年度3月31日)

収入の部	平成28年度予算	平成28年度決算
(1)会費	203,000,000	196,860,000
1.短期会費(年会費)	7,000,000	5,340,000
2.長期会費	196,000,000	191,520,000
(2)広告料	14,000,000	16,042,200
(3)HCD補助金	10,000,000	10,000,000
(4)参加費	2,300,000	2,330,000
(5)寄付金	800,000	770,000
(6)利息収入	20,000	8,574
(7)雑収入	200,000	120,892
当期収入合計	230,320,000	226,131,666

支出の部	平成28年度予算	平成28年度決算
(1)会議費	5,400,000	5,276,755
(2)各種行事費・委員会費	7,000,000	1,964,681
(3)事業費	148,110,000	128,164,671
1.刊行物発行費	51,500,000	43,229,499
2.インターネット諸費	5,000,000	2,764,314
3.理窓会PR諸費	1,500,000	1,426,648
4.事業活動費I	36,210,000	29,444,476
5.事業活動費II	53,900,000	51,299,734
(4)選挙費	100,000	136,912
(5)会費割戻金	30,000	28,200
(6)事務費	10,150,000	8,512,524
(7)負担金	1,700,000	1,503,903
(8)租税公課	1,200,000	751,800
(9)予納金積立	55,000,000	55,000,000
(10)予備費	3,000,000	0
当期支出合計	231,690,000	201,339,446
当期収支差額	-1,370,000	24,792,220
前期繰越収支差額	11,463,287	11,463,287
次期繰越収支差額	10,093,287	36,255,507

(単位 円)

平成29年度理窓会 予算書

(自平成29年度4月1日～至平成30年度3月31日)

収入の部	平成29年度予算
(1)会費	180,900,000
1.短期会費(年会費)	6,000,000
2.長期会費	174,900,000
(2)広告料	14,000,000
(3)HCD補助金	4,000,000
(4)参加費	2,300,000
(5)寄付金	800,000
(6)利息収入	20,000
(7)雑収入	200,000
当期収入合計	202,220,000

支出の部	平成29年度予算
(1)会議費	5,500,000
・代議員総会費	4,000,000
・役員会費	1,500,000
(2)各種行事費・委員会費	4,000,000
(3)事業費	137,440,000
1.新・理窓発行費	50,000,000
2.インターネット諸費	4,000,000
3.理窓会PR諸費	2,000,000
4.事業活動費I	34,440,000
5.事業活動費II	47,000,000
(4)選挙費	300,000
(5)会費割戻金	30,000
(6)事務費	10,750,000
(7)負担金	1,700,000
(8)租税公課	1,200,000
(9)予納金積立	55,000,000
(10)予備費	2,000,000
当期支出合計	217,920,000

当期収支差額	-15,700,000
前期繰越収支差額	36,255,507
次期繰越収支差額	20,555,507

(単位 円)



ホームカミングデー2017

—卒業生の皆様— “時代とともに～ひろがる出会い～”

10月29日(日)に野田キャンパスでお会いしましょう

野田キャンパスで開催



中央広場ステージは図書館前にあります。

野田キャンパス開催は第1回・第2回以来10年ぶりです。ホームカミングデーは東京理科大学卒業生の方々に大学の発展の現状を認識して頂くと共に、大学の将来計画についてご理解頂く機会であり、社会人としての同窓の方々から大学に期待する要望等のお話をして頂く機会でもあります。ホームカミングデーが全国の卒業生との絆を深め、卒業生と大学との絆を強める役割を果たし、それが大学の一層の発展に役立つものと思っています。

今年も「時代とともに～ひろがる出会い～」を開催テーマに展開します。どうぞ野田キャンパスに足をお運びください。ご来場お待ちしております。

[HCD企画実行部会長 福田義克(工・建1968)]

セレモニー 中央広場ステージ



キックオフセレモニー
(和太鼓サークル:9:45～)と
歓迎セレモニー
(鏡開き:13:00～)

卒業50・40・30・20・10周年懇親会

カナル会館3階(11:00～12:30)

同窓出合いの広場 記念図書館ラウンジ

ふれあいライブステージ 中央広場ステージ



(9:45～15:50)
神楽坂吹奏楽団とガッシュズ
SHOW、他に祥子、グリークラブ、
チアリーディング部

お笑い演芸会 講義棟2階(14:00～15:30)

講義棟2階にて、
同窓である桂歌助師匠
が出演。
また、理科大落語部か
らも2名出演



サイエンス 講義棟1階



サイエンス夢工房とキッズ・サイエンス・ライブショー

お楽しみ抽選会 中央広場



抽選券は1枚1,000円で会場内で販売

平成29年、理工学部創設50周年記念事業

RESONANCE

50th ANNIVERSARY PROJECT

50周年記念特設ウェブサイト: [resonance理工](http://www.tus.ac.jp/news/resonance/) <http://www.tus.ac.jp/news/resonance/>

理工学部創設50周年記念フォーラム

今後の50年に向けて、1. 理工学部の教育・研究、2. 理工学部の推進する研究、3. 地域との連携、
4. 野田キャンパスの将来について発信します。

日時: 平成29年9月23日(土) 13:30～17:00 (懇親会 17:30～19:00)

会場: 野田キャンパス12号館 1211教室(懇親会: カナル会館)

理工学部創設50周年記念式典及びレセプション

理工学部卒業生の皆様、懐かしい野田キャンパスへ!

今後の50年に向けて変化する理工学部をご紹介します。多くのOG/OBのご参加をお待ちしています。

(野田キャンパスホームカミングデーと同時開催)

日時: 平成29年10月29日(日) 12:30～17:00

次第: 第1部 記念式典[12:30～14:10 野田キャンパス13号館1階1311教室]

開会の挨拶(理事長)

パネルディスカッション5名程度(企業、教師等で活躍される卒業生・修了生)

理工学部の教育・研究改革、再構築についての講演

閉会の挨拶(学長)

第2部 全体レセプション[14:30～15:30 野田キャンパス カナル会館1～3階]

武田双雲氏によるライブペインティングを含むレセプション

第3部 学科レセプション等[15:30～17:00 野田キャンパス カナル会館1～3階他]

学科毎に内容・会場を設定

参加費(第2・3部): 4,000円(当日申込可)

お申し込みは、理工学部ウェブサイトから <http://www.st.tus.ac.jp/>

『野田建築50周年大同窓会』10月29日開催!!

(ホームカミングデー2017と同時開催)

理工学部建築学科は2017年に学部と共に創設50周年を迎えました。これを記念して、50周年記念誌の発行、記念デザインコンペ、OBの特別講演、利根運河シアターナイトへの協賛など、様々なイベントを実施、予定しております。

10月29日(日)に、理工学部建築学科とOB会組織である野田建築会の合同主催で『野田建築50周年大同窓会』を開催いたします。

15:30～17:00 50周年記念設計コンペ「利根運河 夢の架橋」表彰式
50周年記念講演会 建築家・三分一博志氏(1992年卒)

17:30～19:30 懇親会

詳細は、以下の『野田建築50周年記念事業』特設HPページをご覧ください。

<http://www.ar.noda.tus.ac.jp/50th/next.html>

UNGA NEXT

懇親会には新旧の教員も多数出席予定です。これを機に、久しぶりに野田キャンパスにお越し頂き、恩師、友人たちとの交流、横の繋がり、縦の繋がりを深めてください。

東京理科大学理工学部創設50周年記念デザインコンペ



利根運河 夢の架橋

支部だより



話題は野田キャンパス学生のYOSAKOIソーラン

《北海道支部》

支部長：伊藤 四郎(理・物1965)
日 時：平成29年5月13日(土) 午後17時～
会 場：札幌ガーデンパレス

全員で19名の参加者でした。本部から本山理事長、理窓会増淵副会長、こうよう会北海道監査役菊池様3名のご来賓に出席いただき会を開きました。

総会で本山理事長より、今年の入試受験者数、卒業生の進路状況、そして、今年は記念すべき野田キャンパス設立50周年を迎え、「6年間一貫教育コース」の導入について語られ、増淵副会長からは理窓会の歴史・目的・現状についての説

明、理窓会の今後については、ソーシャルネットワークの活用・更なる在校生への支援活動についての説明がありました。菊池様からは父母会の状況や6月に行われる野田の学生さんによるヨサコイの応援・父母会についての話がありました。



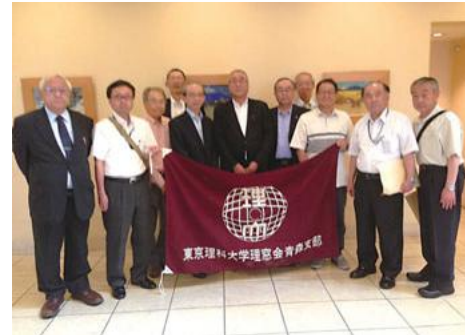
「おもしろサイエンス」が特別奨励補助の対象になる

《青森支部》

支部長：阿保 民博(S48理工・物)
日 時：平成29年7月8日(土) 午後4時～
会 場：青森ワシントンホテル

阿保支部長の開催挨拶の後、吉本常務理事から大学の入試・進路状況等について、加賀谷理窓会副会長から理窓会活動について報告いただきました。続いて、平成28年度の活動報告・会計報告があり、青森地区の会員有志が毎年企画している「おもしろサイエンス」が特別奨励補助の対象となり、理窓会からの支部活動補助金が増額支給されたことが報告されました。

写真撮影後、懇親会へと続き、阿保支部長挨拶、吉本常務理事乾杯の音頭で、思い出話や近況報告で懇親を深めました。次年度総会開催地である弘前市での再会を約束し散会しました。



日光街道 宿場ライブ「祥子応援隊結成」

《栃木支部》

支部長：金子 康法(工・経1970)
日 時：平成29年7月2日(日)
会 場：宇都宮「ホテル ニューイタヤ」

大学から吉本常務理事、理窓会・島崎副会長、維持会・森野会長の出席がありました。初参加者も多く、活気ある支部総会となりました。栃木支部では総会のほか日本交響楽団(小山市)の鑑賞会(6月)や足利饒阿寺(ばんなじ)で催される「足利新能」鑑賞(9月)といった文化的な活動も行っているが、今年の見玉は、同窓歌手・祥子が迎える～日光街道 宿場ライブ～の追っかけ応援です。祥子さんは大阪育ちですが、な

んと「とちぎ未来大使」。さらに世界遺産に登録された日光観光大使でもあります。日光がゴールの宿場ライブも栃木県に入ってきたので、にわかに「祥子応援隊」が結成され盛り上がりしました。



姜尚中先生の「通過儀礼」講演に共感

《埼玉支部》

支部長：長澤 智則(理・化1972)
日 時：平成29年7月2日(日)
会 場：ウエスタ川越

平成29年度理窓会埼玉支部総会を7月2日(日)に盛大に開催しました。総会では、平成28年度会務報告及び決算報告、平成29年度事業計画及び予算案等が承認されました。講演会は、東京理科大学特命教授・姜尚中様より、「若者の人生儀礼」という演題でご講演をいただきました。若かりし頃、誰もが経験した「通過儀礼」。大学の同窓生だからこそ共有できる感覚を呼び起こすような素晴らしいご講演でした。懇

親会は、別会場で開催しました。諏訪部顧問の乾杯のご発声でスタート、まさに和やかな懇親の場となりました。



河村先生の最初の宇宙科学実験で知る理科大

《東京支部》

支部長：植木 キク子(理・物1961)
日 時：平成29年5月28日(日) 13時30分～
会 場：東京理科大学 1号館17階 記念講堂

第15回東京支部総会を開催。今期の活動及び収支決算報告、そして監査報告があり、さらに来期活動計画と収支予算も提案され承認可決された。

その後の理窓教育会東京支部との共催で報告会、講演会、懇親会が行われた。本山理事長より「東京理科大学の現状」、石神会長より「理窓会の活動報告」、維持会の森野会長より「維持会の報告」があった。諏訪東京理科大学学長河村洋先

生より、「国際宇宙ステーションにおける最初の科学実験と最近の宇宙開発」の演題で講演頂き宇宙開発の全般のレクチャーでは、特に「表面張力にかかわる無重力状態での挙動」でマランゴニ対流の動画は圧巻であった。宇宙ステーション内の「トイレ事情」なども興味深かった。



“創設者の足跡”を辿り本学の伝統を再び

《滋賀支部》

支部長：横山 成紀(理・応物1967)
日 時：平成29年6月11日(日) 午後11時～
会 場：ライズヴィル都賀山

総会は、横山支部長からの支部活動報告・会計報告と承認。続いて吉本東京理科大学常務理事と渡邊理窓会副会長より東京理科大学・理窓会の現況報告。そして、森野維持会会長より講話「『東京理科大学の歴史』“創設者の足跡”」と題して、建学の精神や大学・学生支援体制の伝統の礎を作った偉人について、大いに勉強になる話をして頂いた。

総会終了後、記念撮影に続き、懇親会は、出席者全員から

近況報告や情報交換、支部活性化策の提言などのスピーチで楽しいひとときを過ごし、校歌を全員で斉唱して、長瀬先輩の閉会の辞で散会しました。

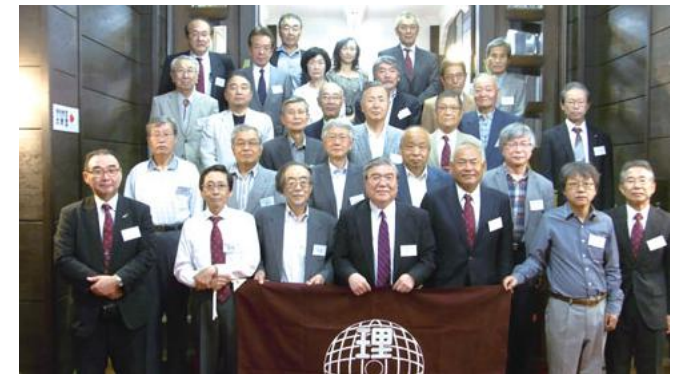


講演会の健康長寿の秘訣を教わる

《大阪支部》

支部長：秋山 茂夫(理・応物1972)
日 時：平成29年5月20日(土) 午前11時～
会 場：中央電気倶楽部

東京理科大学理事長 本山和夫様にご出席頂き、大学の近況等をご報告後、元摂南大学薬学部教授の藤森廣幸様(薬・生化学1974)より「プテ糖質制限に挑戦」と題した健康長寿の秘訣に関するご講演を頂いた。大阪支部長を6年間務めてきた今泉浩氏が退任し、新支部長として秋山茂夫氏が就任し、今泉浩氏は支部代議員として、蒔田司郎氏は事務局兼会計として引き続きご担当いただくことになりました。



岡山坊っちゃん会

《岡山支部》

支部長：三浦 康男(理工・数1971)
日 時：平成29年5月14日(日) 14時～
会 場：ピュアリティまきび

平成25年度から、支部総会という名称ではなく「岡山坊っちゃん会」の名称で開催しています。今年も、昨年同様若い会員の参加をはじめ女性会員の参加もあり昨年を上回る人数の会員が集い充実した総会となりました。毎

年、会員によるミニ講演をしていますが、今年は工務店経営の小林義則氏(理工・建1980)が「介護改修の実例とバリアフリー」と題した講演を行いました。また、過日「瑞宝双光草」



の叙勲に浴された赤木寛氏(理・物1957)の祝賀会も兼ねて開催いたしました。今回は、吉本常務理事に初めてご臨席をいただいた他、歌手の祥子さんやこうよう会岡山県副支部長など、多数のご来賓のご臨席を賜り盛大な会となりました。



理窓ビジネス同友会～在学生へのキャリア教育も

理窓ビジネス同友会は、「会員相互の繁栄のため、親睦を図り、かつ相互サポートができる環境整備に協力し、もって母校の興隆、社会への貢献に寄与すること」を目的に掲げ、1980年に発足しました。

研修会やビジネス交流懇親会などを開催し、会員間の人間関係を醸成させることで会員間のビジネス交流、人脈作りを図っています。また、在学生を対象としたキャリア教育授業へ講師の派遣なども行ってあります。

「現役世代にとって魅力ある理窓ビジネス同友会とは何か？」を考え、今後とも諸活動を通して会員増強に努めてまいります。詳細は当会のWebサイトをご覧ください。

<http://kigyou.risou.net>

ビジネス交流懇親会を毎月開催しています！

開催日時：毎月第3火曜日19時～

場所：PORTA神楽坂6階 理窓会倶楽部

入会ご検討中の方もお気軽にご参加ください。

お待ちしております。

*1月と8月は開催いたしません。



理窓ビジネス同友会主催の特別講演会

◆日時：2017年9月20日(水) 18:00～19:45

◆講師：竹内 薫氏(サイエンス作家)

◆参加対象：理科大の卒業生、在学生、教職員(参加費無料)

◆場所：東京理科大学 富士見校舎

◆演題：「人工知能の進化～共存し、生き残る道とは」

理窓技術士会～技術懇話会の参加者も増え、一段と活性化



平成16年1月に当大学出身の技術士が、「理窓技術士会」を立ち上げ、現在約80名の会員で運営しております。

この間、大学及び理窓会、各関連団体と連携して各種の活動を行っています。活動の一つに、技術懇話会(奇数月開催)があり、この5月で74回となりました。各分野の専門の先生にご講演していただいております。最近では会員の他、大学の先生や学生も含め、参加者が多くなり、一段と活性化してまいりました。また懇話会後の懇親会では、講演者、学生を交えて、異業種、多世代間の意見交換・交流の場として意義が高まっております。また工場見学会を開催し、見学先に関心のある会員外からの参加者もありました。当会は会員資格を技術士相当に限定しておりましたが、当会の活動に賛同する方も会員となることのできるよう会則を改正し、すでに何名かご参加頂いております。さらに、修士を含めた在学生には、入会費と年会費無料とし、科学技術への関心を持つ機会を増やす施策をとり、大学の先生の支援を得て参加者が徐々に増えています。また女性運営委員が

就任し、女性目線でのアプローチも行っています。

大学との連絡会では、各大学技術士合格者ランキング等を通じ、他大学の取り組み姿勢をお知らせし、理科大知名度アップの一端を担いたいと考えております。他に、大学と連携して、理学部II部のキャリア支援講座、こうよう会の就活支援説明会での講演を行っています。また公立化された山陽小野田市立山口東京理科大学には、引き続き技術士養成プログラム支援を行ってまいります。そのほか理工学部、諏訪東京理科大学の技術士養成支援について



協議中です。

ホームカミングデーでは、毎年、当会コーナーを設け、活動報告や技術士制度の紹介、技術資格の受験相談などを行うとともに、大学の先生と学生の協力によりロボットの公開・実演を行い、多くの家族連れに楽しんでいただきました。

各種活動を通じて、理科大の教員と職員、学生、理窓会会員との連携の深耕を行い、当会の目的「東京理科大学、加えて理窓会の発展に寄与すること」を達成できるよう研鑽を続けます。皆様のご協力をお願い申し上げます。

「鹿踊り(ししおどり)のはじまり」を歌う会

1961年、旧音楽部の混声合唱団は、宮澤賢治原作の音楽物語「鹿踊りのはじまり」を歌いました。4年ほど前、懐かしさから当時の仲間と練習を始めましたところ、歌うごとに宮澤賢治の世界観にはまりました。素晴らしい作品を共に歌ってくれる仲間を増やそうと、昨年9月本会を立ち上げました。徐々に仲間が増え、昨年12月に第2回花巻国際平和



音楽祭で演奏する機会を頂きました。また、本年1月には東京タワー国際文化フェスティバルに招かれ、他の合唱団との合同で「鹿踊り



鹿踊り(花巻空港壁画)

のはじまり」を演奏しました。今夏も花巻を訪れて、国際交流の場での演奏を予定しています。宮澤賢治の平和観「世界が全体幸福にならないうちは個人の幸福はありえない【農民芸術概論】」への関心が世界にも広がり始めています。「鹿踊りのはじまり」の演奏に関心のある方、是非練習を覗きにおいでください。大歓迎です!

連絡先:鈴木明義(代表)090-2316-7755、沖谷博江(総務)080-5524-3397

神楽坂会(ハンドボール部OB会)

東京理科大学ハンドボール部のOBOG会である神楽坂会は1976年に設立した。1961年神楽坂キャンパスにおいて本学ハンドボール部が活動を開始したことにちなみ「神楽坂会」と称している。会員は320余名、自らがハンドボールを楽しむこと、現役との交流や援助を中心に活動している。

競技への参加として現在4チームを擁している。①神楽坂会:若手中心に勝利を目標とする②神楽坂メディオ:30代後半が中心。楽しみかつ勝利を狙う③神楽坂フェニックス:有資格者40歳以上。全国マスターズ大会に毎回参加している全国唯一のチーム④神楽坂シニア:生涯ハンドボールをモットーに50・60代が中心で楽しいハンドボールを實踐中。

現役のサポートは応援、資金援助、就職のガイダンスなどである。学生は春季3部リーグで30年ぶりの優勝を果たし、続く2部昇格入替戦では50名に及ぶ卒業生が試合会場に駆けつけた。援助では神楽坂・葛飾キャンパスの部員への野田森戸体育館(ホーム練習場)までの交通費支援が学



げられる。これは2008年以来継続している。就職情報説明会では経験した部活動が就活やこれからの人生に役立つことを気付かせることを基本に、2011年以来毎年2回以上開催し、いずれも第一志望に就職している。最後に課題としてOB会幹部の高齢化とOB会費の徴収率の向上がある。前者に関して若手OBを抜擢し、それに呼応する形で彼らが結束を見せている。後者は従来の我々OBからの声掛けに加え、学生から行事の案内等を充実させることにより、卒業生の意識を高める工夫を行っている。

「東京理科大学管弦楽団創立70周年を祝う会」のご案内

伝統を誇る「東京理科大学管弦楽団」の創立70周年を祝う会を開催します。現役とOBOG共催による会で、4年前の会同様、和やかな懇親会、楽器の持ち寄りによる即興アンサンブル、世代をつなぐ合同オーケストラ演奏を計画しています。当日は、現在現役を指導する川合良一氏、歴代指揮者・村川千秋氏・久志本涼氏をお招きし、オーケストラの指揮もお願いする予定です。

参加申込みと開催詳細は、東京理科大学管弦楽団HP(右記)をご覧ください。できれば楽器と譜面台をお持ちいただ

いて、和やかな午後を過ごしましょう。

日時：2017年12月3日(日)開場13時30分、開演14時
会場：日本建築学会「建築会館」1階ホール

JR田町駅、都営三田線三田駅より徒歩3分

開催詳細・申し込み：<http://www.ed.tus.ac.jp/orche/>
お問い合わせ：daiobshuukai@gmail.com

実行委員(OB)：重岡邦昌、吉本成香、渡辺通春、
佐野吉彦、木下和貴

協力：東京理科大学管弦楽団+交響楽団



インドネシア理窓会～現在約50名の会員

インドネシア理窓会の活動について

インドネシア理窓会は3年前にインドネシア留学フェアで在ジャカルタ卒業生が5名集まり、時を同じくして別の4名が仕事を通して知り合い、半年後に9名が合流して、ジャカルタで理科大OB会として勝手に活動を始め、会員が15名ほどになった頃、新井教授のご指導の下に正式に理窓会本部より「インドネシア理窓会」として発足したのが2年前の2015年5月31日です。現在約50名の会員がおります。

そんな地域発で始まった会ですので本当に気儘な会です。野田も神楽坂もそして今後出てくる葛飾も全く関係なく、集っては学生サークルの乗りで楽しんでおります。活動は、毎月の懇親会、ゴルフコンペ、文化的な研修会の3つです。

一懇親会

インドネシア理窓会では、懇親会を毎月第3木曜日に開催しております。メンバーの職業は、土木、建築業、教育関係、サービス業、運送業、繊維関係など多岐にわたっております。

毎回10名前後のメンバーがジャカルタの日本食レストランに集まり、くだらない話で盛り上がっていますが、時には日本では予想もつかないようなインドネシアならではの裏話、労働局、税務当局の裏事情など、貴重な情報も盛り沢山です。



一ゴルフコンペ

インドネシア理窓会では3か月に一度のペースで懇親ゴルフコンペを開催しています。先日の6月11日開催のコンペで第九回を数え、ゴルフの腕前を競いつつ、ビジネスやプライベート、インドネシア生活での悩み事相談などプレー中は会話は尽きません。また毎度趣向を凝らしたゲームを折り込み、全員参加のオリンピック、オネストジョン、神楽VS野田対抗戦などプレー後の懇親会も毎回盛り上がりです。今後は他大学同窓会との対抗戦も組まれる予定であり、より一層インドネシア理窓会の結束力が高まっていくものと思います。



一研修会

2016年8月に第一弾としてジャカルタ地下鉄の工事現場見学を企画しました。常日頃交通渋滞の車から、「仮囲いの中でどんな仕事をしているの?」「トンネルはどうやって掘っているの?」「建設現場ってキツイ・汚い・危険なの?」等々、皆が思っている事をイッキに解決するために、現場の中を実際に見てもらいました。湿度100%の現場を1時間近く歩いて汗だくになって見てもらいましたが、皆さん興奮気味に「地下鉄工事って凄い!」「百聞は一見にしかず」「貴重な体験が出来た」と大成功でした。その後は、「繊維工場見学会」「知らなかった鍵の話」「IBとグローバル教育について」「珍しいカブトムシ採集会」が行われました。

理窓ヨット倶楽部～現役部員減少を乗り越えて

理科大ヨット部は1961年に創部され、土・日曜日に相模湾や東京湾で自主練習と夏合宿を行い、葉山沖で開催の春、秋関東インカレレースでの勝利を目標に頑張っています。

創部4年後に、OB会である理窓ヨット倶楽部の活動が始まり、現在、倶楽部会員数は320名です。

ヨット部の創部者は出身高校からヨットを借りてきて神楽坂のお堀に浮かべ、ヨット部員を勧誘したとの事、ヨット部設立の意気込みが感じられます。

過去には、新入部員数が最大で70名近くになったこともありましたが、海の近くでの合宿生活は学業に影響を及ぼし、多くの部員が退部を余儀なくされ、残る部員は数名というのが現状です。

これは理科大だけの問題ではなく、他大学も現役の確保に頭を痛めているようです。部員数がゼロとなり廃部となった大学もあります。

我々は、廃部という最悪の事態を避けるべく、現役との意見交換の場や、倶楽部会員同士の親睦を図る行

事を年に数回行っています。またOB会費の中から現役への支援金を出していますが、会費の徴収率が低く、支援金を増やせないのが悩みです。



外部団体との交流も行っています、10大学OB戦です。年1回若洲ヨット訓練所に17大学の現役・OB・OGが集まるヨットレースで、理窓ヨット倶楽部は何回も優勝しており、毎年、優勝を!と意気込んでいます。

私自身、卒業後、社会に出て頑張れたのは学生時代に経験したヨット部生活のお蔭だったと感謝しています。「ヨット部をやっていた良かった」そんな現役を増やしたい!と言う思いで、これからも現役を支援していきます。

(大熊 清二 工・建1972)

理窓会ヨット倶楽部HP:<http://ryc-ob.com/>

卒業生だより

さまざまな分野で活躍する理科大の卒業生たち。彼らの“今”を紹介します

Freshman

フレッシュマン

わかった!・楽しい! 授業をめざして奮闘中

永井 伎 (ながい たくみ)さん

東京都立府中東高等学校 教諭 (理工・物2016)

教員として働きはじめて、今年で2年目になり、今年は見通しと余裕をもって職務にあたるだろうと思っていたものの、初めての担任業務や、専門外の化学の授業準備など、新たな壁の前に慌ただしい日々を過ごしています。

いくつかある業務の中でも、私は『日々の授業をきちんと準備する』ことを一番大切にしています。熱心に取り組む生徒、やる気の起きない生徒、物理が好きな生徒、理科数学はおろか算数もできない生徒……などなど、生徒の実態は様々ですが、彼らにどうアプローチしていけば興味を持てるのか、もっと学びたいと思えるのか。それを考えながら教材研究をし、時には外部の勉強会に出向いたりします。大変ですが、生徒の「わかった!」「楽しい!」を感じた時の喜びは何にも代えられません。

担任としての仕事はまだまだ手探り状態です。クラスの生徒達は、率先して手伝いをしてくれたり、「先生のクラスでよ

かった」と言ってくれたり、恋愛相談をしにきたりと、とても人懐っこいんです。未熟ですが、生徒達のために成長したいという思いで奮闘しています。

反省の日々ですが、他の先生方にご指導いただきながら頑張ることができています。若手の先生も多いため、互いに切磋琢磨し、時には励まし合う雰囲気の中で仕事ができおり、よい職場に恵まれたなと感じています。また、夢であった教職に就き、充実した毎日を送ることができているのは、周囲の支えがあったからこそだと思います。こうした出会いに感謝をしながら、これからも頑張っていきます。



Freshman

フレッシュマン

周囲と連携しながら自分の役割を果たす

小野 慎一郎 (おの しんいちろう)さん

北海道北見北斗高等学校 教諭 (理・数2017)

私は2017年3月に大学を卒業した後、北海道北見市の北海道北見北斗高等学校に情報科主任教諭として赴任しました。北見北斗高校は校訓「質実剛健・文武両道」の下、オホーツク管内における進学校であり、部活動を盛んに行っている学校でもあります。また、私が赴任した今年度より、北見北斗高校はSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受け、未来の科学技術人材の育成にも力を入れています。私の校務分掌はその流れの中で今年から設置されたSSH推進委員会です。過年度実績がない校務分掌なので、先輩教員と連携しながら毎日試行錯誤で仕事に臨んでいます。SSHは国家予算が付く研究開発事業なので、年度毎のSSHに係る活動の実施報告書の作成が求められます。その作成の担当者の一人としてSSHの活動をどう事業評価していくか日々頭を悩ませています。本校のSSHの最大の特徴は、普通科240人が一年を通して課題研究を行う学校設定科目です。普通、SSH校の課題研究は理数科の中で少人数に対して行われることが多く、普通科全員を対象にした事例が少ないため、日々手探りで周りの先生と課題研究の授業開発には励んでいます。

この経験は次期学習指導要領に盛り込まれる「理数探求」や「総合的な探求の時間」で活かされると思います。

情報科の授業は、今後の高大接続改革の中で情報科も入試に本格的に導入されることも念頭に入れながら、教科書の内容、また教科書の内容以上のものを生徒に身に付けてもらいたい思いで日々新しい情報を取り入れ教材研究、授業開発に励んでいます。

この仕事全般に係ることに、関係部署、関係のある先生方への事前連絡、確認、相談の大事さを日々の仕事の中で強く感じています。また、自らがやりたいことと与えられた役割を果たすこと、出来ることと出来ないことをしっかり区別して明確にすることの大切さを常に感じながら日々の仕事に取り組んでいます。



第二の故郷、日本で学んだことが、 今の仕事に役立っています

Mohd Ambri Mohamed

(モハド・アンブリ・モハメド)さん

マレーシア国立大学教員(基礎工・材料工 2004)

2001年にマレーシアから理科大に2年生編入して長万部キャンパスの学生と野田キャンパスで合流し、しかも日本人の友達と一緒に勉強ができてたくさんいい思い出ができました。そのあと、後藤先生の研究室に配属され、ラボメンバーとみんなで仲良くできて勉学の面、生活の面で問題なく過ごすことができました。同級生の友達、後藤芳彦教授やラボメンバー、当時学生課の汲川さん、チューターの柴田さん、三輪さんなどたくさんの方々に感謝します。卒業後1年間マレーシアでの日系企業に勤めた後、再び来日して北陸先端科学技術大学院大学で博士課程を終えた後、同じ大学でポスドクや助教として勤めました。理科大の環境は都市のイメージが強く、逆に先端大では故郷の山や海のイメージがあり、極端な気候の変化も経験することなど、たくさんの思い出があります。

日本で学んだ研究者育成プログラムは今の仕事にとって本当に役立っています。現在マレーシア国立大学(Universiti Kebangsaan Malaysia)で教員として大学院生の教育や研究などにかかわっています。着任以来大学のナノエレクトロニクスセンターでカーボン電子のラボや分子線エピタキシー装置の立ち上げで幾つかの国家プロジェクトに参加しています。日本の教育の



魅力をたくさん学生の学生にも味わってもらうために毎年複数の学生を交流プログラムを通して日本に送るようになります。留学生へのメッセージは、「新しいことに恐れずにチャレンジし、自分の専門分野以外も知るようにしてたくさんの情報を身につけることも大事だと思います。そしてたくさん友達を作り横・縦のネットワークを早いうちに作った方がいいと思います。」自分にとって日本は第二の故郷です。なぜなら人生の三分の一は日本で過ごし、奥さんとの出会いそして二人の子供も日本で生まれました。今の自分があるのも奥さんのおかげです。つらい時も支えあって感謝の気持ちがいっぱいです。これからの夢はもちろん理科大にいたときの留学生の仲間、同級生の仲間、そして支えていただいた方々に会うことです。2006年の同窓会以来会っていないです。皆さんどうしていますか?そろそろ第二のハートビートプロジェクトを始めませんか?

ambri@ukm.edu.myまで連絡ください。

海外7番目となるベトナム理窓会発足に向けて

大学では「日本の理科大学から世界の理科大学へ」のスローガンを掲げ、国際的な評価向上を目指しております。多くの同窓生が海外で活躍されていますが、海外での同窓生も大変多くなってきております。

しかし、海外での同窓会組織は早稲田、慶應、上智大学に比較すると大変少なく、大学の評価向上の為に多くの方の

ベトナム理窓会設立準備委員会 TEL: 03-3260-0725
委員長 福田 義克 E-mail: risoukai@alumni.tus.ac.jp
連絡先: 理窓会事務局 Homepage: http://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp/
Facebook: https://www.facebook.com/risoukai.tus

外理窓会を立上げ、大学をサポートしたいと思います。2017年12月3日にはベトナム(ホーチミン市)にて海外7番目となる理窓会を立ち上げます。大勢の同窓の皆様にご参加頂き、有意義な会合にしたいと思っております。皆さま、設立のためにお力をお貸しください。



知的財産戦略を支援するプロ集団です



特許業務法人

太陽国際特許事務所®

□東京オフィス 〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-17 TEL 03-3357-5171 FAX 03-3357-5180
□横浜ランチ 神奈川県横浜市
□USオフィス Alexandria, VA U.S.A

http://www.taiyo-nk.co.jp

女性科学者に 明るい未来を!

石原 安野

(いしはら あや)さん

千葉大学准教授

(理・物 1998)



科学への目覚め

中学生の時、大学生たちとキャンプをしたことがあった。あとで考えてみたが、このことが自然現象の面白さと出会うきっかけになったのだと思う。高校時代にはロマンティックな音楽の話や物理の面白さを語ってくれる先生がいた。高校3年生の時、アメリカ留学も経験した。科学の面白さに目覚めるタイプと苦手なタイプがいるが、大学では物理学を勉強してみようと、東京理科大学に進学した。

鈴木公先生との出会い

素粒子に強く興味を持つようになったのは、理科大学に入学してから。卒研のため理学部一部の鈴木公先生の門を叩いたところ快く受け入れてくれた。鈴木先生は、いつも気軽に学生たちとのディスカッションに応じてくれた。研究室に入ってみないとわからないことが多いが、勉強と研究の違いも教わった。一人ひとりをよく観察し、学生にあった指導をしてくれ、「型にはまらないほうがいいだろう」と言われた。大学院巡りをしていた時、鈴木先生から「アメリカのテキサス大学に行ってみてはどうだ。良い先生がおるぞ!」と紹介された。高校時代にアメリカに留学した経験もあり、アメリカの雰囲気は少しは分かっていたつもりだったが、「テキサス」と聞いて悩んだ。鈴木先生は「3日間で結論が出せなければ、いつになっても出せないぞ。3日以内に結論を出せ」と言われたので、「お願いします」と即答した。鈴木研究室からはその後何年間か、2年にひとりテキサス大に学生が送り込まれた。

テキサス大学では理科大学の大先輩である宇田川猛先生につくことができた。幸運にも宇田川先生がグラジュエイトアドバイザーになられた直後でもあった。必須授業も多かったが、世界中から集まった仲間と大いに勉強した。

アメリカでは頑張れば学費も給与ももらえる。科学者を職業としてしようと決意したのはこのころである。

南極でニュートリノを観測

宇宙における高エネルギーの研究を続け、2004年より国際共同ニュートリノ観測装置アイスキューブ(IceCube)実験に参加することができた。千葉大学などを含む12カ国から約300人の科学者が参加するビッグチームで、南極大陸を覆う氷床1立方キロメートル、深さ1,400~2,400mのところらに検出器を埋めた装置で宇宙から飛来する高エネルギー素粒子の検出に挑んだ。試行錯誤の連続で「失敗してもめげずに繰り返した。決して、あきらめなかった」。2012年、予測していた実験データが入手(実証)でき



南極での観測仲間と

↑石原さん



IceCube 模型を手にする石原さん

た時のあの感動は今でも鮮明に蘇る。綺麗な信号が飛び込んできたとき、最初は「エイプリルフールではないか?」とも思った。「共同研究者250人、実動者100人ほど」の成果だ。10年以上追いかけることができ幸せである。

南極でのこぼれ話

南極で会った人はほとんどが科学者で、いろんな国の人たちとの出会いに日々感動の連続であった。科学には、どの国の人とも話ができる「共通言語」がある。これでどんどん話ができて、楽しかった。

1月1日に氷上マラソン大会があり、半袖で走る人がいたのには驚かされた。世の中にはすごい人がいるものだ。

猿橋賞受賞の感想

高校生の時から猿橋賞のことを知っていた。とはいえ、まさか自分に?と、受賞の知らせを受けた時は驚いた。これまで受賞された多くの大先輩の仲間入りをさせていただき、大変光栄だった。

日本では女性の科学者は本当に少ない。せいぜい10%くらいだろう。ブラジルでは50%、ヨーロッパでは40%くらいはいる。日本でも20%くらいは欲しいものである。その時その時の出会いを大切にしながら、科学に興味を持つ若者が一人でも多く出てくれることを願っている。

後輩にひとこと

高校生・大学生は是非「自分なりのアンテナ」を一本立てることを勧めたい。自分に入ってくる音と、他人の雑音とは違う。今は空気を読むことを要求される時代である。そんな中、孤立しないことも大切だ。やりたいことは傲慢にやったほうがいい。自分独自の敏感なアンテナから入る自分の心に響く情報を大切にすること。そして日々努力し、自分の心に問い直すことも忘れないで欲しい。

猿橋賞とは

自然科学の分野で顕著な研究業績を収めた50歳未満の女性科学者に、1980年より毎年「女性科学者に明るい未来をの会」から1名に贈られる賞である。この会を設立した猿橋勝子博士は、女性で初めて日本学術会議会員に選ばれた地球科学者である。

石原安野准教授の受賞理由は「ニュートリノ天文学における顕著な研究業績を評価」。

石原准教授は2012年に、宇宙から飛来する高エネルギーをもつ素粒子ニュートリノを世界で初めて検出に成功した。宇宙の謎を解くこのニュートリノはあらゆる物質をすり抜ける性質を持っている。石原准教授は独自の視点で装置を改良し、検出できるまでにこぎつけた。このニュートリノは、ノーベル賞を受賞した小柴昌俊・東京大学特別栄誉教授が1987年に岐阜県のカミオカンデで観測したニュートリノの約1,000万倍の高エネルギーを持つと言われている。



猿橋賞受賞

いしはら・あや

1998年 東京理科大学理学部第二部物理学科卒業
2004年 テキサス大学大学院博士課程修了
2005年 国際共同研究「IceCube」に参加
2010年 超高エネルギーニュートリノ物理ワーキンググループリーダー
2016年 千葉大学准教授

「科学のマドンナ」プロジェクト特別企画

本学では、「理学の普及を以て国連発展の基礎とする」という建学の精神のもと、より多くの女子中高生の理系に対する意識を高め、理学のさらなる普及を目指した「科学のマドンナ」プロジェクトを実施しています。今年で10年目を記念し、特別企画『Woman×Science 2017』が葛飾キャンパスにて開催されました。今回、異なる分野で活躍されている方々が「女性」「夢」「大学での学び」などさまざまなキーワードで科学への思いを語りました。

第1部では日本航空株式会社(JAL)の代表取締役専務執行役員の大川順子さんの講演会が行われました。「可能性は無限大～勇気を出して踏み出そう～」をテーマに、学生時代、就職活動時のエピソードや、リケジョからCAへの道のりで身につけた力や経験などについてお話いただきました。

第2部のトークセッションでは、家電ベンチャーUPQのCEOである中澤優子さん、ロボティクスファッションクリエイター、メカエンジニアのきゅんくん、モデレーターに毎日新聞科学環境部長の元村有希子さんが加わり、現在のお仕事内



左から元村有希子氏、大川順子氏、中澤優子氏、きゅんくん

容や、科学の魅力についてご自身が思うことなど、ざっくばらんにお話いただきました。参加した中学三年生の女子生徒は「理科が苦手だったが、大好きなファッションなどとの関わりがあることを知れました。今後の進路選択に生かしたいです」と話してくれました。



大川 順子 氏
日本航空株式会社(JAL)
代表取締役専務執行役員
1978年 東京理科大学薬学部卒業



中澤 優子 氏
家電ベンチャーUPQ CEO
1984年 東京都出身。
カンオ計算機にて携帯電話の企画開発。
ものづくりを続けたいという熱意から、
家電ブランドUPQを発表し、活躍中。



きゅんくん
ロボティクスファッションクリエイター、
メカエンジニア。機械工学を学びながらファッション
として着用するロボットを制作し活躍中。

司会進行 元村 有希子 氏
毎日新聞科学環境部長、1989年、九州大学教育学部卒業、毎日新聞入社。
科学コミュニケーターとして授業や講演も多数。

I 部体育局柔道部 全日本理工科学生柔道優勝大会で2年連続優勝!

6月25日(日)に講道館で開催された「第58回全日本理工科学生柔道優勝大会」で、本学柔道部が優勝。本大会は、国公私立大学や短期大学の理工科学系学部所属する学生が参加する大会で、15年ぶりの2年連続優勝。通算4度目の優勝です。

柔道部主将のコメント:「今回も“絶対に勝つ”と自分たちの中で決めていたので、その通りに結果を残すことができホッとしています。このような結果を残せたのも、今までともに練習してきた大勢の部員たちや、現役部員を応援してくれる監督、コーチ、OBのおかげだと深く感じています。」



飛んだ! 泣いた! 笑った! 鳥人間コンテスト2017

今年も、琵琶湖で鳥人間コンテストが開催され、7月29日の滑空機部門に「鳥人間サークル鳥科」(葛飾キャンパス)が連続して11回目の出場、30日の人カプロペラ機ディスタンス部門には「Aircraft Makers」(野田キャンパス)が5回目の出場を果たし、それぞれ目標を達成。一年間の部員の皆さんのたゆまない努力、チームワークの成果です。縁の下で支えてくれた皆さんご苦労様、感動の涙をもたらした素晴らしいフライトでした。



Aircraft Makers人カプロペラ機飛行



鳥人間サークル鳥科は、目標過去実績250mを大きく更新する318mを達成。部長・島里美(工・機3年)、パイロット加納瑠美奈(工・電3年)、部員数80名。



Aircraft Makersは飛行距離164mを達成した。部長・相田優太(理工・機3年)、パイロット・百瀬晴基(理工・先化3年)、部員数50名。



鳥人間サークル鳥科・加納さんを中心とした喜びの写真

当日は、本山理事長はじめ、多くの地元理窓会・こうよう会の皆さまにも応援に駆け付けていただき、大いに盛り上がり、琵琶湖に理科大応援の音が鳴り響いていました。



理窓会、こうよう会の皆さんによる大応援団

2017理大祭 11月18日(土)、19日(日)の2日間 神楽坂、葛飾で同時開催!



神楽坂キャンパス

テーマは、「smiley」 来場者の皆様がかから楽しんでいただき、思い出に残るような理大祭を目指しています。目玉企画は、東京理科大学の1番の美男美女を決定する「ミスコン・ミスターコン」。

候補者の特技披露、シチュエーション企画、ウェディングドレス披露などの様々な企画を行う予定です。

葛飾キャンパス

東京理科大学が葛飾区と共催し、校舎を映像や音楽で彩る「理科大プロジェクトマップ」を実施予定。また、それぞれのキャンパスでは理科実験やプログラミングなどを体験コーナーも。

理系大学ならではの企画が盛りだくさん。お待ちしております。

東京理科大学カードのご案内

東京理科大学カードは、学校法人東京理科大学と三井住友カード(株)が提携して生まれたクレジットカードです。東京理科大学カードは、学生の皆様が持つクレジットカードとして、機能と安全性を高めた学生生活の強い味方です。



ゴールド



一般・学生

ご利用金額の一部が大学へ還元され、給付型奨学金ならびに教育・研究環境を充実させるための原資として活用されます。

- ここがポイント
- 在学中年会費 無料
- カード利用枠 10~30万円
- 海外旅行 傷害保険付帯

申込み先 <https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/rikadai/index.jsp>



東京理科大学 TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

サイエンスフェア「みらい研究室～科学へのトビラ～」を開催

2017年6月10日(土)・11日(日)に「みらい研究室～科学へのトビラ～」が東芝未来科学館(川崎市)にて開催されました。当日は本学の科学系学生団体に所属する学生が中心となり、それぞれの日頃の活動成果を披露しました。「模型飛行機を作ろう」「人力飛行機を操作してみよう」(Aircraft Makers)、身近なもので入浴剤や芳香剤を作る「楽しく学ぼう化学の不思議」(II部化学研究部×野老実験クラブ)、都会では見られない星々の上映(I部II部天文研究部×野田天

文研究会)など実験・体験を通して科学や技術の楽しさを伝えました。12回目の開催となる今年は、2日間で合計6,154名の皆さまにご来場いただきました。

「みらい研究室」とは東京理科大学の学生が小中学生に科学の楽しさを伝えるため、キャンパスを飛び出し科学実験・体験を行うイベントです。

未来の科学者が増えたかな? 開催学生団体の皆さん、素晴らしかった、有難う!



化石のレプリカ(お土産)を作ろう
・説明するスタッフ



ガウス加速器 説明を聞く親子



みちかな化学の実験室 不思議な液体・元素ネイル

Formula Racing

・レーシングカーに乗れる
・奥で模型を作る大勢の親子




未知との遭遇～星との出会い～
・惑星の模型に見入る家族



さんすうをたのしもう!
・数理パズルに取り組む親子



人力飛行機のことを知ろう
・模型で説明



東京理科大学同窓会会員の皆さまへ

あなたを、大切に思う。

自然体でいられるのは二人の価値観が似ているから。お互いの思いを大切に、価値観の近い方を丁寧に紹介しています。


■ 芙蓉グループ会員会社の皆さまを中心とした、安心で確かなメンバー層です。

■ 成婚率業界トップクラス。3,000名を超えるご結婚実績です。

ご入会資格 東京理科大学同窓会会員の皆さまとご家族、及びその紹介による方々もご利用いただけます。

お申込金 申込金は80,000円(税別)2年間有効で、月会費等の費用は一切かかりません。

結婚

詳しくはホームページをご覧ください。
芙蓉ファミリークラブ 
http://www.fuyou-fc.jp
TEL: 03-3264-1931 E-mail: info@fuyou-fc.jp

「日本の女性科学者展」開かれる～近代科学資料館～



夏の企画展は、男女が平等に高等教育を受けられなかった社会の中で、高い志を持ち女性科学者となった先駆的女性科学者の業績と研究を紹介した。帝国大学への入学は、男子のみ進学できる高等学校を卒業することが条件であった中、1913(大正2)年に東北帝国大学が女子に門戸を開放し、丹下ウメ(日本女子大学出身)、黒田チカ(お茶の水女子大学出身)ら3名が日本初の女子大生となった。東北大学には、文部省から「女子の入学とは一大事件であり、再考せよ」という文書が残っており、女子大生の誕生がいかに社会的に受け入れ難い状況だったかを示

す貴重な資料だ。

入試選抜問題も東北大学の回答文書として偶然にも残っている。試験問題を物理学科の現役生が解き展示した。

8人の中には本学ゆかりの数学者もいた。北海道余市郡出身で小樽高女を卒業後、1931(昭和6)年東京物理学校聴講生として森本清吾から指導を受け、北海道大学理学部の初の女性教授となった桂田芳枝である。

ビタミンB₂(丹下ウメ)、石炭(保井コノ)、紅花(黒田チカ)、お茶(辻村みちよ)、分光分析(加藤セチ)、β崩壊(湯浅年子)、幾何学(桂田芳枝)、海水分析(猿橋勝子)と各科学者関連テーマを学生1人が担当し、家庭でできる科学実験の準備をした。自ら調べ、器具や試薬まで考え、予備実験を行ったが、期待した反応が起こらず失敗を繰り返した。

お客様からは「すばらしい先達のことがあった。」「女性の理系(リケ女)が昔から活躍していたことを知り頼もしく感じた。」「入学試験の内容や昔の履歴書が印象深い。」と感想が寄せられた。

秋の企画展では「明治時代の物理学教育における東京物理学校が果たした役割」を紹介します。

ぜひとも神楽坂キャンパスの一番背の高い1号館の裏手にある近代科学資料館へお立ち寄りください。

諏訪東京理科大学 公立化に向けての動き

2017年3月30日、諏訪地域6市町村は2018年4月の開学を目指している公立諏訪東京理科大学(仮称)の理事長予定者に唐澤範行(現学校法人東京理科大学理事長補佐)(工・機工1974)、学長予定者に河村洋(現諏訪東京理科大学学長)をそれぞれ選任しました。唐澤理事長補佐は長野県上伊那郡出身。東京理科大学工学部機械工学科卒業後、朝日麦酒株式会社(現アサヒビール)へ入社し、関連企業のアサヒフードアンドヘルスケア株式会社代表取締役社長、アサヒグループ食品株式会社代表取締役社長等を歴任後、2017年3月に退任され、現在は学校法人東京理科大学の理事長補佐に就任しています。

今年度、諏訪東京理科大学は前年の1.4倍である365人の新入生を迎え、学内は例年以上に賑やかな雰囲気となっています。公立化に向けての準備も着々と進んでおり、2017年4



唐澤理事長(予定者)

河村学長(予定者)

月には公立大学法人の設置団体となる諏訪広域公立大学事務組合が設立。9月には文部科学省より大学設置者変更及びこれに伴う寄附行為変更が認可、長野県より公立大学法人設立が認可される見通しとなっています。

山陽小野田市立山口東京理科大学校友会組織の発足と協定書の締結

平成28年4月より新たにスタートした公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学は、昭和62年4月に「東京理科大学山口短期大学」として設立された後、平成7年4月に改組転換した「山口東京理科大学」を前身としています。

既に大学同士姉妹校としての協定書が締結されており、平成29年度より山陽小野田市立山口東京理科大学では「山口東

京理科大学校友会」が発足しました。

そして、東京理科大学の校友会組織である「理窓会」と山陽小野田市立山口東京理科大学の校友会組織「山口東京理科大学校友会」では、「包括的連携のもと、相互が主催する事業を通じて、活性化を図り、双方の発展に貢献することを目的」として協定が締結されました。

大阪支部長 秋山 茂夫 (理・応物1972) // 関西理窓会連合会のさらなる発展を目指し

本年5月より支部長を拝命しました秋山茂夫と申します。私は昭和47年理学部応用物理学科を卒業後、松下電工株式会社(現在パナソニック株式会社)に入社、主に研究所に勤務し材料開発、電子回路設計、半導体プロセスなどの研究開発に従事しました。同社を定年退職後は産業支援系公益財団でコーディネータとして勤務しております。大阪支部としましては、関西の二府四県で構成しています「関西理窓会連合会」のイベントや大阪での大学主催の関連行事へできるだけ多くの同窓生の参加を呼び掛けて

いきたいと思えます。これにより支部会員の再結集と新会員の加入促進を図り、同窓会活動のプラットフォーム構築を進め、母校の発展に少しでも寄与していきたいと考えております。



群馬支部長 中澤 治 (理・数1980) // 同窓生のネットワークをさらに広げる



この度、猿谷支部長の後任として群馬支部長となりました中澤です。私は55年理学部数学科を卒業し群馬県の高校数学教諭となり校長職を最後に定年退職をいたしました。その間、高校現場としては延べ9校を経験してきました。

て、さらに校長としては理窓教育会の県支部長として、様々な立場で関わらせて頂きました。今後の支部活動においても同窓生のネットワークをさらに広げ、諸行事を通して同窓生相互の親睦と各人のフィールドを極める情報交換の場として寄与してまいりたいと思えます。人とのつながりは人生の大きな財産です。本支部の活動が同窓生の豊かな生き方の一助になれば幸いです。

理窓会群馬支部とは、駆け出し教師のころから一般会員として、また、中堅教師となってからは支部の事務局長とし

静岡支部長 松原 龍一 (理・物1975) // ますます活発な3地区の活動



私は昭和46年4月にI部理学部物理学科に入学しました。まだ学生運動の余韻が残り、理大祭も机や椅子のバリケードの裏で行われた事を思い出します。卒業後は郷里へ戻り、高校教師として教鞭をとらせていただき、平成25年度末に菰山高校の副校長職を退任しました。その後は再任用教師として今日に至ります。

本県は東海道線に沿って長い地形であるため、県を東部、中部、西部と3地区に別け、各地区の会長を中心に活動を行っております。県を代表する支部長は各地区の持ち回りで、東部地区からこの度の就任となりました。3地区が連携し益々盛会になるよう努めますのでよろしくお願いいたします。

任期満了に伴う理窓会役員選挙について

理窓会役員選挙管理委員会の設置について

平成29年7月11日(火)に開催の常務委員会で、今年度末に任期満了を迎える次期理窓会役員(会長、副会長、監査委員)選挙を実施するための選挙管理委員会委員8名を次のとおり選出した。

岡田紀夫、佐竹信一、眞田孝則、鈴木智順、田所誠、永野勝裕、三浦和彦、西川英一
第1回選挙管理委員会が7月12日(水)に開催され、委員の互選により委員長に西川英一氏を選出しました。引き続き役員選挙日程等が審議され、告示内容を決定しました。

次期代議員は、役員候補者推薦委員会で代議員候補者推薦実施要領にもとづき、支部長、支部長推薦、推薦部会推薦の3区分から代議員候補者を決定し、12月12日の常務委員会での承認を得て選出します。

理窓会役員選挙に関する告示

平成29年7月12日 役員選挙管理委員会
理窓会会則第10条にもとづき、理窓会役員の選挙を下記の通り実施します。

記

会長信任投票、および監査委員選挙

(※監査委員の投票は役員推薦委員会推薦候補者以外も有効)
平成30年

1月17日(水) 次期代議員に信任投票用紙発送
1月30日(火) 17時 郵送による投票締切(必着)
1月31日(水) 18時 開票(PORTA神楽坂第2会議室、立会い自由)

副会長承認投票

平成30年
2月21日(水) 次期代議員に信任投票用紙発送
3月6日(火) 17時 郵送による投票締切(必着)
3月7日(水) 18時 開票(PORTA神楽坂第2会議室、立会い自由)

「第109回新年茶話会」のご案内

今年も同窓並びに東京理科大学の教員で叙勲・褒賞を受けられた方々、および坊っちゃん賞を受賞される方々をご招待し、祝賀を兼ねて開催いたします。新年早々で恐縮に存じますが、ご出席賜りたくご案内申し上げます。

日時 平成30年1月6日(土)
1.祝賀会:14時30分~15時30分 2.懇親会:15時30分~17時30分
場所 ホテルメトロポリタンエンドモント(東京都千代田区飯田橋)
形式 会費7,000円(受賞者記念品代を含む) 立食パーティ
ご出席の方:同封の返信ハガキで12月2日までに申し込みください。
※理窓会ホームページからの申し込みも可能です。

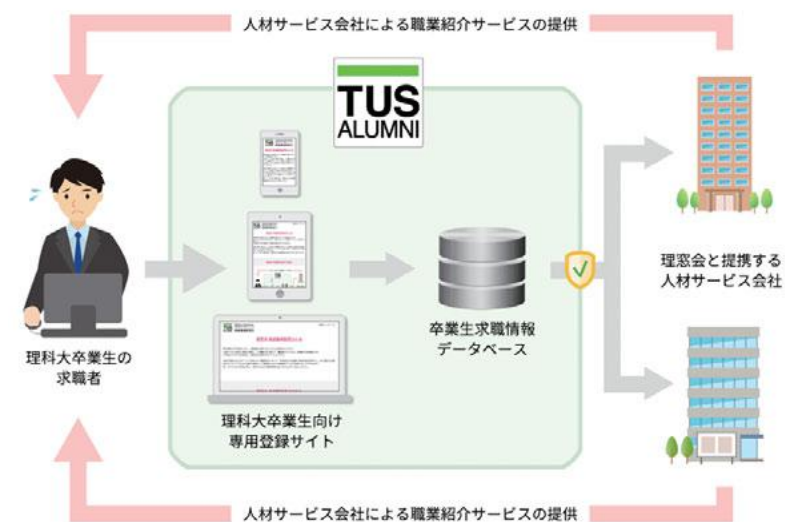
磯脇 一男(いそわき・かずお)
1964年理学部二部数学科卒業
受章

瑞宝小綬章(教育功勞)

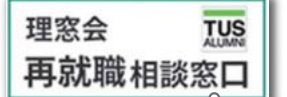
中浜 邦夫(なかはま・くにお)
1968年理学部二部数学科卒業
受章

瑞宝小綬章(教育功勞)

卒業生に対する「再就職支援サービス」を始めました。



詳しくは理窓会のHPより



(株)ブライダルは東京理科大学同窓会の皆様の「結婚」を応援します。
39年の実績
(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも「結婚」という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に東京理科大学同窓会の皆様には平成16年より「東京理科大学コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「同窓会誌」を見たとおっしゃってくだされば、会員の皆様はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付(登録料100%OFF)にてお世話させて頂きます。

東京理科大コース
登録料 **100%OFF**

- ブライダルコース ¥226,800▶¥194,400etc.▶
- エクセレントコース ¥388,800▶¥356,400etc.▶

価格は会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

ホームページ <http://www.bridal-vip.co.jp>
株式会社 **ブライダル**
☎0120-415-412
Network 東京・横浜・湘南・豊橋・名古屋・岐阜・大阪
東京本社 〒113-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル2F

2017年10月29日(日)ホームカミングデー野田キャンパスと同時開催のイベント

RESONANCE
**理工学部創設50周年
 記念式典&レセプション**
 12:30~17:00

**野田建築50周年
 大同窓会** 建築学科と共催
 記念デザインコンペ表彰式
 OB講演会、懇親会 午後

2017年9月~2018年3月 理窓会主要行事予定

第12回東京理科大学ホームカミングデー	2017/10/29(日)	野田キャンパス
第9回坊っちゃん科学賞(高校部門)発表会		
理工学部創設50周年記念式典&レセプション		
野田建築50周年大同窓会 (建築学科共催)		
第14回理窓会会長杯ゴルフ大会	2017/11/11(土)	アスレチックガーデンゴルフ倶楽部
ベトナム理窓会設立総会	2017/12/3(日)	ホーチミン市
第109回理窓会新年茶話会	2018/1/6(土)	ホテルメトロポリタンエドモント
第20回坊っちゃん賞授賞式 坊っちゃん賞公募締め切りは10月31日です。		



ベトナム理窓会 開設準備中!

アジア6番目の理窓会です。
 2017年12月3日(日)
 設立総会 ホーチミン市
 恒例になった、多国籍応援団!
 日本およびアジア各国から設立総会
 に参加する卒業生を募っています。
 これから決まる詳細は、
 理窓会ホームページで。

大学が卒業生に提供している メールアドレスに登録を!

XXXXXXXX@alumni.tus.ac.jp
 大学から卒業生に最新のニュースを掲載した
 メールマガジンが届きます。
 理窓会からは最新の理窓会と卒業生の
 ニュースを発信しています。
 大学のホームページから登録ができます。
 皆様の生涯アドレスとしてご活用ください。

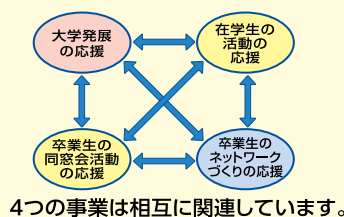
全卒業生が理窓会の会員です。理窓会会費と会員のボランティア活動が理科大コミュニティの発展に貢献しています。

【理窓会費の納入に是非ともご協力をお願いします。15年会費3万円、年会費3千円です。】

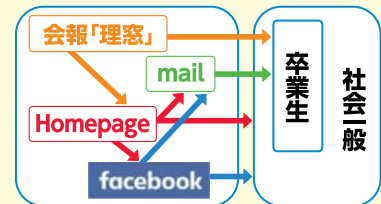
理窓会コミュニティ



理窓会の4大事業



理窓会の情報発信



発行者 東京理科大学校友会《理窓会》 | 編集委員会 委員長/増淵忠行(理・物1968) 委員/大岩昭之(工・建1968)、小久保正己(理・数1969)、
 会長 石神一郎(工・建1970) | 齋藤常男(理・物1971)、近藤明(工・工化1973)、前田光男(理・化1981)

理窓会事務局 E-mail: risoukai@alumni.tus.ac.jp ホームページ: http://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp fb: https://facebook.com/risoukai.tus
 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂7階 Tel:03-3260-0725 Fax:03-3260-4257